



声掛け・見守りで熱中症予防！～高齢者や子どもなど延べ約8万6千人に呼びかけ

とき 4月～8月

ところ 区内高齢者・障害者や乳幼児の自宅等

記録的な猛暑が続き、熱中症による救急搬送が7月は過去最多となった。熱中症の犠牲になりやすい高齢者は、在宅中、エアコンがあっても使用しないために、発症する例が多い。

練馬区では、区民や事業者との協働により、高齢者などの住まいを個別に訪れ、熱中症予防の徹底を呼び掛けている。これまでに、熱中症のリスクが高い高齢者、障害者、乳幼児等がいる世帯、延べ8万6千人に、直接、注意喚起を行ってきた。

今後も、声掛けと見守りにより熱中症予防に取り組む。



【地域包括支援センターによる訪問の様子】

7月から8月にかけて猛暑日が続く、7月23日には、練馬区でも最高気温39.6度を記録した。

東京都監察医務院によると、23区の8月2日までの熱中症による死者100名のうち約半数は、エアコンが設置されている室内で、エアコンを使用しないで亡くなっている。

そこで、区では、熱中症を防ぐ行動をとってもらうには、地域での声掛けや見守りが最も重要と考え、区民・事業者の協力を得て、戸別訪問などにより、直接注意を呼び掛けている。

【高齢者約5万3千400人、障害者約9千200人に声かけ・見守り】

○ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を訪問

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯は、周囲から孤立しがちで熱中症のリスクも高い。

6月から、25か所の地域包括支援センターの職員・ボランティアが、約6千人の自宅を訪問。家庭の生活状況を確認しながら、直接、注意を呼び掛けた。見守りが必要な世帯には、さらに継続的に訪問し、「エアコンを使用して」など具体的なアドバイスをしている。

＜エアコン使用に結びついた例＞

ひとり暮らし高齢者のAさん、自宅にエアコンはあるが、契約アンペア数が少ないため、ブレーカーが落ちることを心配してエアコンの使用を控えていた。訪問支援でそのことを知った地域包括支援センターの職員は、Aさんを説得。最初はエアコンの使用を渋っていたAさんだったが、何度も繰り返し危険性を説明することで、Aさんの理解を得た。そこで、センターの職員はAさんと一緒に電気会社に連絡、契約アンペア数を変更した。その後、Aさんは、エアコンを適切に使用するようになった。

○介護保険事業者や民生委員も声掛け

7月からは、ケアマネジャーやヘルパーなど介護事業者による介護保険利用者への声掛けと、民生委員が地域の高齢者へ配付する情報誌「おたっしゃだより」への熱中症予防記事の掲載などにより、これまで、約5万3千400人に対して個別の声掛けと見守りを実施した。

○障害者世帯

窓口相談や居宅訪問などで、あわせて約9千200人に注意喚起した。

【乳幼児世帯には訪問・メールで約2万4千世帯に注意喚起】

○「こんにちは赤ちゃん訪問」で声掛け

新生児のいる家庭を保健師や助産師等が個別に訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問」の際に注意喚起することとし、6月から約1,200世帯にチラシを渡して声掛けを行った。

○「ねりま・子育てサポートナビ」でメール配信

妊娠・子育て世帯に子育てや予防接種の情報をメールでお知らせする「ねりま・子育てサポートナビ」の登録者約2万2千700人にあてて、7月に熱中症の注意喚起を行った。8・9月にも継続して配信する。

【多様な媒体を活用して注意喚起】

○ポスター等は介護サービス事業所や理・美容院でも掲示

区立施設など約1,320か所では、「熱中症に注意」と記したポスターの掲示やチラシを配布。さらに、介護サービス事業所や理・美容室でも、チラシの配布やポスター掲示に協力していただいた。

○SNSも活用

区ホームページでは、急に暑くなった4月からトップページでの注意喚起を開始。7月以降は、区のツイッターやフェイスブック、健康管理アプリなど、様々なSNSを活用して繰り返し呼び掛けている。

8月からは、区内を巡回している安全・安心パトロールカーでも、呼び掛けを開始した。

【声掛けと見守りを徹底】

今後も暑い日が続くことが予想されている。区は「過去に熱中症で亡くなった方のほとんどが高齢者。地道な声掛けが最も大切。区民の皆さんにも、繰り返し高齢者等への呼び掛けをお願いしている。今後も地域の協力を得て、高齢者世帯への声掛けと見守りに取り組んでいく。若い世代にはSNSによる周知を活用するなど、さまざまな手法を活用して熱中症予防を呼び掛けていく」と話している。

【23区内の熱中症の状況】

① 熱中症患者速報（東京消防庁）

30年4月1日～7月29日に、救急車により搬送された患者数 4,655人（うち練馬区 239人）

② 熱中症死亡者数（東京都監察医務院）

30年4月1日～8月2日 100名（うち練馬区 4名：60代2名、80代2名）

【問い合わせ】

熱中症対策全般・子ども関係	健康推進課	計画担当係	03-5984-1636
高齢者関係	高齢者支援課	管理係	03-5984-4582
障害者関係	障害者施策推進課	管理係	03-5984-4598